

2017 年度(平成 29 年度)

事業報告書
(第 7 事業年度)

自 2017 年 1 月 1 日
至 2017 年 12 月 31 日



公益社団法人 企業メセナ協議会
Association for Corporate Support of the Arts

目 次

I. 法人の概況	2
1. 公益社団法人設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 公益法人の認定等に関する事項	
5. 会員の状況	
6. 役員等	
II. 組織運営の概況	4
1. 会議等の開催状況	
2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進	
III. 事業概要	6
公 1: 企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及	
1-1. 提言・提案活動	8
1-2. 調査研究事業	8
1-3. 認定・顕彰事業	11
1-4. 情報発信	14
1) 広報活動	
2) ウェブサイト運営	
3) 出版、ライブラリー	
1-5. 普及促進	17
1) メセナフォーラム等	
2) 国際交流	
3) メセナネットワーク	
4) 地域メセナ交流・推進	
1-6. コーディネート、協力	22
公 2: 芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業	
2-1. 「2021 芸術・文化による社会創造ファンド」	27
2-2. 震災復興支援事業「東日本大震災 芸術文化による復興支援ファンド」.....	28
2-3. 助成認定制度	29
IV. 決算報告	33

I. 法人の概況

1. 公益社団法人設立年月日

2011 年 1 月 6 日

※ 1990 年 4 月 20 日設立の旧社団法人は、移行認定に伴い 2011 年 1 月 5 日に解散登記を行った。

2. 定款に定める目的

この法人は、企業をはじめ芸術文化に関わる団体が参加、協働し、芸術文化振興のための環境づくりと基盤整備に努め、創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

この法人は、先の目的を達成するために、次の公益目的事業を行う。

- (1) 企業による芸術文化支援の促進と普及
- (2) 芸術文化支援に関する情報の収集・発信および仲介・協力
- (3) 芸術文化支援に関する調査・研究および文化政策に関する提言・提案
- (4) 国内外の芸術文化振興に関する団体・機関との交流・連携および企業相互の協力・連携による芸術文化支援の推進
- (5) 企業等による芸術文化支援活動の顕彰
- (6) 芸術文化活動への寄付を促す助成に関する事業
- (7) その他公益目的を達成するために必要な事業

この法人は、公益目的事業の推進に資するための事業を必要に応じ行う。

4. 公益法人の認定等に関する事項

当該事業年度において、認定法の規定により内閣府から受けた勧告、または命令はなかった。

5. 会員の状況

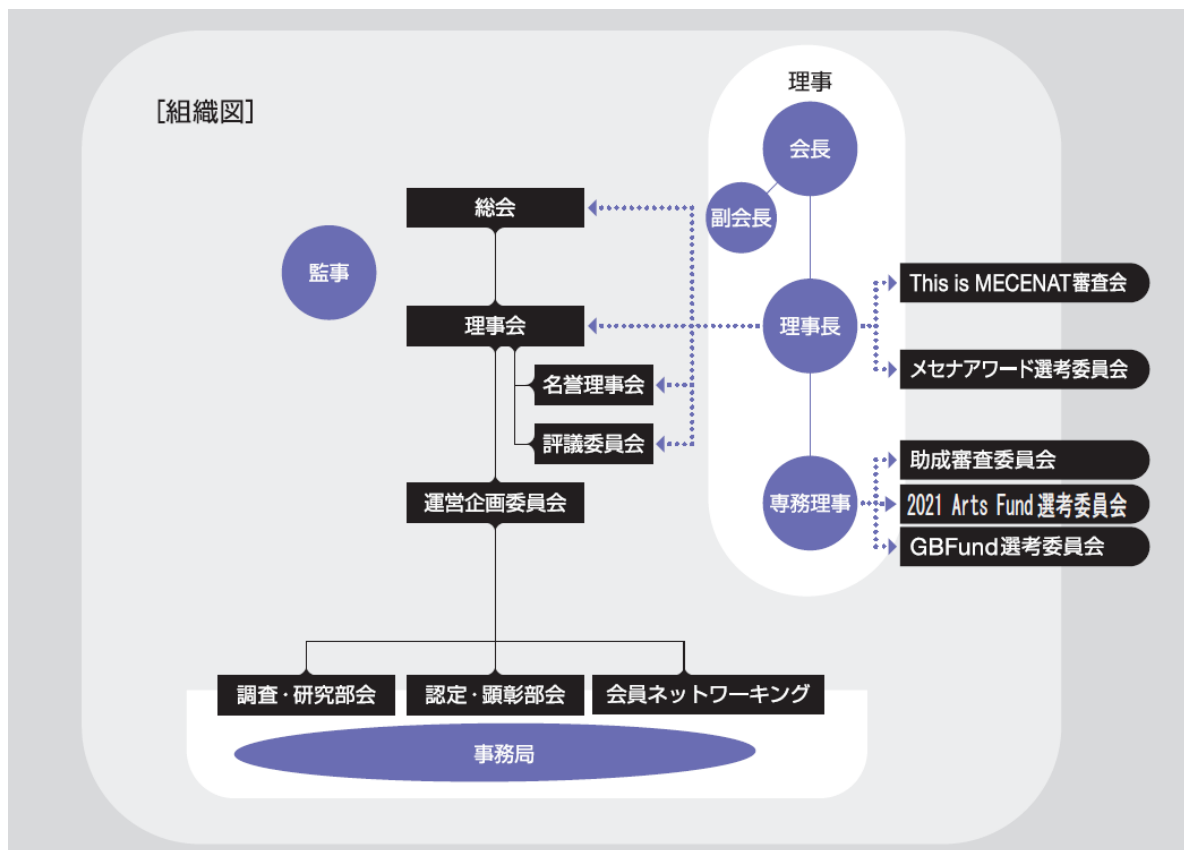
正会員:136 社・団体 準会員:35 社・団体／22 名（2017 年 12 月 31 日現在）

6. 役員等

2017 年 12 月 31 日現在

名誉会長	福原義春	株式会社資生堂 名誉会長
顧問	福地茂雄	アサヒグループホールディングス株式会社 社友
会長	高嶋達佳	株式会社電通 相談役
副会長	秋山耿太郎	株式会社朝日新聞社 前顧問
理事長	尾崎元規	花王株式会社 前取締役会 会長
専務理事	尾崎元規	兼務 現理事長
理事	泉谷直木	アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CEO
	片山正夫	公益財団法人セゾン文化財団 常務理事
	河島伸子	同志社大学経済学部 教授
	杉村玄一郎	凸版印刷株式会社 参与
	田中俊宏	株式会社資生堂 企業文化部長
	布垣直昭	トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部部長 トヨタ博物館館長
	福川伸次	一般財団法人地球産業文化研究所 顧問
	二宮雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代表取締役会長
	舟橋香樹	大日本印刷株式会社 ICC本部 本部長
	星 久人	株式会社ベネッセホールディングス 特別顧問
	吉本光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事
監事	岩田武司	弁護士
	太下義之	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 芸術・文化政策センター主席研究員
名誉理事	遠藤信博	日本電気株式会社 代表取締役会長
	北島義俊	大日本印刷株式会社 代表取締役社長
	古賀信行	野村ホールディングス株式会社 取締役会長
	佐治信忠	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役会長
	塚本能交	株式会社ワコールホールディングス 代表取締役社長
	早川 茂	トヨタ自動車株式会社 取締役副会長
	平田保雄	株式会社日本経済新聞社 顧問
	福武總一郎	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問
	藤本宣人	日本生命保険相互会社 執行役員
	渡邊光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役会長
評議員	足立直樹	凸版印刷株式会社 代表取締役会長
	奥村洋治	株式会社フジタ 代表取締役社長
	芝川能一	千島土地株式会社 代表取締役社長
	竹安 聡	パナソニック株式会社 役員 ブランドコミュニケーション本部 本部長
	田中稔三	キヤノン株式会社 代表取締役副社長 CFO
	戸田裕一	株式会社博報堂 代表取締役社長
	前田晃伸	株式会社みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
	矢崎和彦	株式会社フェリシモ 代表取締役社長

II. 組織運営の概況



1. 会議等の開催状況

【定時社員総会】

- 3月8日:2016年度事業報告並びに収支決算／次期理事選任の件／事業の実施状況の報告ほか

【通常理事会】

- 2月8日:2016年度事業報告並びに収支決算／次期理事候補について／助成認定制度運用規定について／定時社員総会の招集／代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告
- 12月8日:2018年度収支予算(案)の件／事業の実施・経過状況の報告

【臨時理事会】

- 2月8日:企業メセナ協議会運営に関する調査報告ならびに今後の対応について
- 3月8日:名誉理事交代の件
- 5月22日:新会員承認の件／名誉理事 就任・辞任の件／理事会運営規則の制定／会員の状況についての報告
- 4月20日、9月4日:(決議の省略による)新会員承認

【運営企画委員会】

- 3月27日:2017年度新体制に伴う説明、出席者意見交換、ほか
- 6月6日:新任委員のご紹介／文化庁の文化プログラムに関する主な取組について／新体制後の基本的活動方針について／今後の年間活動計画について／運営企画委員会の役割と位置付け、メンバー間の情報共有について、ほか

- 9月26日:新任ご挨拶／協議会および運営企画委員会のあり方等に関するご意見・ご要望について／2018年度事業計画(案)について／事業の進捗状況の報告／わが社のメセナ活動の最新情報、ほか
- 11月21日:2018年度予算(案)について／事業の進捗状況の報告

【役員・運営企画委員会合同会議】

- 12月8日:「メセナアワード2017」贈呈式について／2021 Arts Fund ほか助成事業の実施状況について／国際会議等の実施について／情報発信・広報活動の状況について／部会・ワーキンググループの活動状況について、ほか

2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進

(◎:部会長／グループリーダー、○:サブリーダー *2017/12/31 現在)

【調査研究部会】 (3回:1/18、6/6、11/22)

企業・企業財団によるメセナ活動の実態や傾向、意識等を調査・分析し、メセナを担う実務担当者
に情報を提供するとともに広く社会に紹介。メセナに関する研究の提案、方向性を検討する。

◎吉村真也(TOA)、高橋奈緒美(損害保険ジャパン日本興亜)、津志雅昭(朝日新聞社)、森実尚子
(日本電気)、吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

【認定・顕彰部会】 (4回:5/11、7/13、7/25、12/12)

メセナに取り組む企業・企業財団等を励まし、社会からの関心を高めることを目的として、百社百様
のメセナを認定する「This is MECENAT」について議論し、顕彰事業「メセナアワード」の運営を担う。

◎飯田直子(大日本印刷)、泉 菜々子(第一生命)、樫村俊也(竹中工務店)、片島康彦(電通)、
反町弘智(東日本鉄道文化財団)、真木 優(資生堂)、松沼彩子(アサヒグループ)

【情報発信部会】 (1回:1/31)

協議会の情報発信の方向性や役割について議論し、具体的な手法について検討する。(当部会
は今後新たなテーマがでた時点でプロジェクトベースで再開することになった。)

原田聖子(グリー)、真木 優(資生堂)、川北 英(竹中工務店)、舟橋香樹(大日本印刷)、
宮本 尚(大日本印刷)、小栗和子(ホテルオークラ東京)、中村可奈子(三菱地所)

【会員ネットワーキンググループ】 (6回:2/10、5/12、6/28、8/3、10/12-13、12/11)

会員相互の交流・連携強化を目的とし、情報交換・相談・研鑽等を恒常的に行える場を設ける。各
事業に関連づけた会合を開き、相互のネットワークづくりに貢献する。

◎宗村 泉(凸版印刷)、○内倉真紀子(白寿生科学研究所)、長島彩路(朝日新聞社)、
岡部三知代(竹中工務店)、道嶋彩夏(パソナ)、星 久人(ベネッセホールディングス)、高梨 徹(ベ
ネッセホールディングス)、小森福見(リクルートホールディングス)、鈴木久美子(リソー教育)

Ⅲ. 事業概要

芸術・文化による社会創造に向け、タイムリーでより効果的な活動を展開
～企業をはじめ様々なステークホルダーとのコミュニケーションを強化～

本年度は、企業をはじめ芸術・文化振興にかかわる国内外のさまざまな団体やアーティストなどが今何を必要としているかを考えながらコミュニケーションに努め、協議会に蓄積されてきている情報やネットワークを活かして、各事業を通じて着実に「芸術・文化による社会創造」に貢献できるよう活動した。

3 月から新体制となり、従来の活動をベースにしながら協議会としての価値を更に発揮できるよう、組織全体として有機的に活動できる体制に移行した。具体的には、事業は①調査・研究、②認定・顕彰、③助成を柱とし、合わせて会員ネットワーキング、セミナー、広報活動を横断的に実施できる組織体制にした。また、2015 年から始まったアセアン地域におけるネットワーク構築の 3 年目を迎え、シンガポールを訪問しアーツカウンシルや先進的活動を行っている企業と意見交換を行った。協議会の役割、企業メセナの考え方や事例を紹介するとともに、現地の多国籍企業や先進的な取組を行う企業の事例を学び、大変得るものが多い視察となった。

6 月には文化芸術振興基本法が「文化芸術基本法」に改正され、次世代育成、観光、まちづくり、国際交流など関連分野との有機的連携が求められるようになった。9 月 26 日には緊急セミナー「新文化芸術基本法で何が変わるか」を開催し、多くの来場者を集め好評を得た。

同時に、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国や東京都だけでなく各自治体でも、地方創生と観光誘客への期待等から様々な文化施策を推進する動きが顕在化してきた。企業においても、2020 年に向けたメセナプログラムの新たな取り組みや検討が進んでおり、協議会としても企業やその他の様々なステークホルダーをつなぐプラットフォームとしてそれらの動きに対応できるよう検討を行った。

また 2011 年より継続してきた「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)」についても、より広くとらえて 2017 年 1 月から「芸術・文化による災害復興支援ファンド」と改め、継続して寄付金の募集と被災地支援を実施した。

【2017 年度事業等実施状況】

月	主な事業・活動			理事会・部会等
1 月	「文化拠点と地域・コミュニティ ースタディ&ワークショップ」(1/24) 東京フォーラム(1/26)	助成相談日(1/16)		調査研究①
	賀詞交歓会・大林組アートツアー(1/30)			情報発信部会①
2 月		助成相談日(2/22)	プレス①	会員 NW①
			プレス②	通常理事会(2/8)
3 月		助成審査会(3/16)	プレス③	
	2016 年度メセナ活動実態調査報告会(3/8) 『2016 年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report2016』発行(3/31)	助成相談日(3/23)	プレス④	総会・理事会(3/8) 運営企画委員会(3/27)
	TIM 募集(3/1-5/15)		プレス⑤	
4 月		助成相談日(4/27)		
5 月	SOMPOアート・ファンデ選考(5/15)		プレス⑥	認定顕彰①
	アワード募集(-5/31)	助成相談日(5/26)		会員 NW②
				運営企画委員会(5/22)
6 月	第二期メセナライター委嘱期間終了	助成相談日(6/19)		調査研究②
	第三期メセナ・アソシエイト公募(6/17-7/17)	助成審査(6/26)		運営企画委員会(6/6)
	新入会員ファーストミーティング(6/28) TIM 審査会(6/16)		プレス⑦	
7 月	GBFund 選考(7/14)		プレス⑧	認定顕彰②③
	メセナ活動実態調査アンケート送付(7/7-9/19)			
8 月				会員 NW③
	第二期メセナ・アソシエイトレポート web 公開(8/31)			第三期メセナ・アソシエイト MTG①
9 月	アワード選考会①②(9/8・15)	助成相談日(9/22)		第三期メセナ・アソシエイト MTG②
	文化芸術基本法セミナー(9/26)	助成審査会(9/25)		運営企画委員会(9/26)
10 月				
	神戸メセナ視察(10/12-13)	助成相談日(10/19)		第三期メセナ・アソシエイト MTG③
	第三期メセナライター委嘱開始			臨時理事会(10/21)
11 月	シンガポール視察(11/7-10)		プレス⑨	第三期メセナ・アソシエイト中間発表会(調査部会内)
	アワード記者発表会(11/2)			
	アワード贈呈式(11/28) 別府フィールド視察(11/29-30)	助成相談日(11/27)		調査研究③ 運営企画委員会(11/21)
12 月	メセナ音楽部(12/11)	助成審査会(12/7)		通常理事会(12/8)
		助成相談日(12/22)		第三期メセナ・アソシエイト MTG④
				認定顕彰④

公 1: 企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及

1-1. 提言・提案活動

■行政、自治体など公的機関の文化政策活動への参画

- 文化庁による「文化情報プラットフォーム」構築に向けた会議への参加
- 文化庁、芸術系大学によるアートマネジメント人材育成プログラムへの民間委員としての参加
- 東京都のボランティア活動推進協議会へのメセナ案件の推薦や、地方自治体の文化政策審議委員を受嘱

■東南アジア諸国とのネットワーク形成、各国の中間組織発足に向けた議論を推進

- 協議会 25 周年事業で行った国際会議を機に、東南アジア諸国を中心とした各国の文化機関とのネットワークが形成され、特にインドネシアとマレーシアを訪問し議論を深めてきた。本年 1 月に東京での国際フォーラムを開催。ASEAN 各国の文化環境を知るとともに、日本における長年の企業メセナの意義と成果を招聘者へ紹介する機会ともなった。11 月にはシンガポール視察を行い、ナショナル・アーツカウンシル・シンガポールや現地で先進的な文化支援を行う企業等との会議を実施し、連携に向けてプラットフォーム作りに一定の成果をあげ、各国の活動につなげることができた。

1-2. 調査研究事業

■企業メセナの実態に迫る調査・研究

- 2017 年度の調査研究事業では、昨年に引き続き①国内のメセナに関する調査、②国内メセナ事例の研究(メセナ・アソシエイト)、③国外のメセナに関する調査の 3 つの柱で業務を推進した。
- 例年、日本の企業・企業財団に対して行っている「メセナ活動実態調査」では、アンケートを中心にデータを収集。過去のアンケート回答企業・財団のデータを整理し、前年度回答をセットした回答用紙を作成するなど、効率よくアンケートを回収することに努めた。これにより企業 340 社より回答を得ることができた。
- 実態調査については、部会でのディスカッションの不足等、全体的に余裕のない事務局のスケジュール管理が課題であった。今年度は企業財団のアンケートを以前のとおり隔年実施に戻し今年度は実施を見送り、部会のディスカッション機会を十分に設けられるようスケジュールの見直しを行った。これにより、調査分析を深め、調査レポートの質を高めるよう努力した。
- 調査研究部会は今年度例年通り 4 回実施。実態調査の分析では、各企業のメセナ活動の現状をより実態に則して把握するため、検討を行った。
- 2016 年度メセナ活動実態調査の報告として 3 月 8 日に調査報告会を実施し、プレスリリースも同日配信を行った。ゲストとして企業 2 社にメセナ活動についてプレゼンを行っていただき、アンケート回答者の 8 割以上の方から好評を得た他、複数媒体掲載があった。

【2016 年度「メセナ活動実態調査」報告会】

- 実施日 2017 年 3 月 8 日(水) 13:30～14:40
- 会場 ベルサール六本木コンファレンスセンター Room I (東京都港区)
- 出演 調査研究部会: 吉村真也(TOA)、吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)
ゲスト: 稲垣早苗(日本毛織(株)ニッケ鎮守の杜プロジェクト ディレクター)
山田真也((株)原田 広告・宣伝・文化事業・広報部 部長)
- 参加者 35 名(会員企業・個人会員、一般等)

- 『2016 年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report2016』は 3 月末日に発行し、企業や、公官庁からも個別に問い合わせをいただいた。事務局長によるフランス大使館や、アートマネジメント学会でのプレゼンテーションの機会を得たほか、調査部会長は佐賀大学でのアートマネジメント講座でのプレゼンテーションを行うなどし、企業のみならずアート関係者や国内外の方々にも幅広く調査結果を知っていただくことができた。

■海外の企業メセナの状況把握と国際比較

- 「地域・コミュニティの再生・活性化」をテーマに、近年メセナ協議会と関わりの深いインドネシア、マレーシアにおいて企業とともに地域やコミュニティの再生を手掛けているゲスト 2 名を迎え、ワークショップを実施した。
- 会員企業をはじめ、準会員のアート関係者、一般からも多くの参加をいただいた。

国際ワークショップ

文化拠点と地域・コミュニティ ケーススタディ&ワークショップ

ASEAN 諸国の都市研究者・専門家を招き、“地域・コミュニティの再生・活性化”を考えるワークショップを開催。

- 日時:2017 年 1 月 24 日(火)17:00～18:45
- 会場:SHIBAURA HOUSE 5F
- ゲスト・ファシリテーター:
マルコ・クスマウィジャヤ(都市研究ルジャックセンター、ディレクター／インドネシア)
ダンカン・ケイブ(シンク・シティ、アーバン・ナレッジ プログラム・マネージャー／マレーシア)
- 参加者:17 名(会員 4 名、招待 3 名、一般 10 名)

＊文化庁 平成 28 年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」 委託事業

■メセナ・アソシエイトによる事例研究

- 2014 年度より導入した「メセナ・アソシエイト」では、外部の若手研究者が各自の専門性を活かしながら関心あるテーマを設け、企業メセナについて研究を行うものである。毎月のライブラリーミーティングで議論を深め、調査研究部会との意見交換を行いながら自らのテーマを探り、企業各社への取材を行いつつ、メセナの事例研究を行っている。
- 第三期のメセナ・アソシエイト 6 名は、毎月定期的に事務局とのミーティングを行いながら、会員企業を始め、それぞれの研究テーマに沿い、ヒアリングの上、レポートを作成した。8 月に WEB に掲出をおこなった。

第三期メセナ・アソシエイト

氏名	タイトル	取材企業
海老澤 彩	地域活性化事業を行うメセナ活動を対象とした質的評価のための事例調査	東横イン、パソナグループ、千島土地、京阪ホールディングス
澤谷 夏樹	企業メセナとしての美術品蒐集とその活用	サントリー、広島信用金庫、資生堂
杉浦 幹男	地域におけるメセナ活動に関するモデル調査報告	株式会社モスフードサービス、株式会社バウハウス関西・大阪 21 世紀協会
竹口 弘晃	文化資源にアプローチする企業メセナの活動 ー文化資源を顕在化するプロセスに着目してー	中村ブレイス、しずおか信用金庫、油機エンジニアリング、ポラス
田中 実紀	企業アーカイブの公開ーメセナの一つの形	ワコール、資生堂、竹中工務店、虎屋
松下 倫子	企業博物館と地域の繋がり	花王、旭化成、森永製菓

- 本年度(2017年)は、メセナ会員企業にとっても新たな提案ともなりうるようなメリットの高いレポートの作成を目指し、内容の見直しをはかった。過去調査経験のある方を対象とする要項に沿い、4名の応募者の中から2名を選出した。テーマは2020年以降の社会設計として注目度も高い「社会包摂活動とメセナ」と、もう1名は近年地域に根差したメセナとして「沖縄と金沢における伝統工芸とメセナ」について調査予定である。
- その他

調査依頼・問合せ等	日本毛織、TOA、リンナイ、文化庁、神戸新聞社、フランス大使館(5/30 全国にあるフランス関連施設の館長等職員研修にてプレゼンテーションを実施)、佐賀大学(10/20SMAART Bコースにて吉村部会長がレクチャー実施)、アートマネジメント学会(11/26 招待レクチャーとして第19回全国大会奈良にてプレゼンテーションを実施)
記事掲載等	・ニューモデルマガジンエックス(web)2017/3/8 ・ニューモデルマガジンエックス 2017年5月号 ・統計要覧 2018(日本政策投資銀行) 2017年12月発行

1-3. 認定・顕彰事業

■メセナ認定「This is MECENAT」が浸透、アーカイブサイトをリニューアル

- メセナ認定制度「This is MECENAT」(以下「TIM」)は4年目に入り、全国各地の多様なメセナを顕在化させるべく告知先を拡大。新たな審査委員2名を迎え、TIM2017 審査会では154件、85社・団体の活動を認定した(2016年度:136件、73社・団体)。そのうち、99件が前年度からの継続認定となった。
- 全体の新規登録の企業・団体は27社で、会員12社、非会員15社・団体となり、非会員企業が上回った。他事業と連携して活動の実態を調査し、積極的な働きかけや告知先を新たに増やしたことで、協議会の存在を認識してもらう機会となっている。新規登録者には申請書の記入方法など丁寧に対応し、最終的に新規登録企業1社から正会員の申し出を受けた。
- 会員の活動登録については、前年度の110件(43社)から127件(51社)に増加した。全体の数字では微増だが、実際の内容を見ると、新たな活動を申請してきている場合もあり、41件(12社)が新規登録となっている。
- これまでにのべ521件の活動を登録し、プレスリリースやWebサイト内に登録実績を示すことで、毎年度の認定および登録への認知が徐々に浸透してきている。154件の認定活動のうち、約3割(51件)がTIM初年度から継続的に登録している。「全体を見て活動の厚みを感じられると同時に、各企業担当者の熱意が伝わり、大変勉強になる」といった声もあり、少しずつ制度が周知されてきた。
- 認定活動には「メセナマーク」(通称 M マーク)を付与。活用例としてWEB やチラシ、記録集等の印刷物に載せるほか、催事会場でのパネル掲出などの工夫が見られた。プレスリリースに使用し、記事掲載につながる活動もあった。マークの露出により、当制度の認知度および価値が高まってきている。
- 3月の応募開始期に合わせ、TIMのアーカイブサイトのリニューアルを実施。活動を検索するうえで、活動ジャンルや企業所在地のほか、MAPによる活動地域検索など機能を充実させた。今後もより広くメセナ活動を理解いただく媒体として、継続的な情報の蓄積・発信とともに、利便性の向上・内容の充実に努めた。



This is MECENAT Web サイト(リニューアル後)



This is MECENAT 2017 マーク

■TIM2016 認定活動から「メセナアワード 2017」を選考、地域活性や次世代育成の取り組みが受賞

- 「メセナアワード 2017」は「This is MECENAT 2016」で認定された活動 136 件を対象としており、5 月末の締切までに 27 件の応募があった。また、認定・顕彰部会での検討会議により推薦された活動を含め、最終的に全 49 案件を審査委員に提案した。
- 対象案件については約 3 ヶ月間にわたって事務局が調査のため 23 社へ取材に赴き、認定・顕彰部会による 2 度の検討会議を経て、9 月中旬に選考会を二度実施。メセナ大賞 1 件、優秀賞 5 件、特別賞として文化庁長官賞 1 件(文化庁後援)を選出、優秀賞の賞名は評価ポイントを反映させるべく、審査委員が考案した。
- 本年は、都内特別支援学校を対象に、障がいのある子どもたちの音楽鑑賞・体験機会を創出した活動が大賞となったほか、地域や次世代に向けた、彫刻、伝統芸能、地域の文化資源、地域の祭り、文化財などの分野が受賞。経営資源を活かした工夫を凝らす活動が評価された。
- 11 月 2 日にプレスリリースを配信(文化庁同時)し、記者発表会を実施した。主要メディアをはじめ地方紙や業界紙、専門誌など 17 社(17 名)の記者が参加し、受賞各社のメセナ担当者への直接取材につながった。関連記事数は 72 件(12 月末時点)となり、本年は不動産業界 3 社や地方企業 2 社の受賞コメントを交えた記事が多く掲載された。
- 贈呈式および記念レセプションを 11 月 28 日、スパイラルホール(港区・青山)にて開催。大賞を受賞した三菱地所の吉田淳一社長はじめ各社・団体のトップが登壇し、受賞の喜びをスピーチした。また、中岡司文化庁次長、審査委員が出席したほか、協議会会員や文化関係者など約 200 名が集い、プレス関係者は約 20 名が出席した。レセプションでは、受賞活動紹介の場として、受賞企業による演目披露と展示スペースを設置。盛況な会となり、記事掲載につながった。
- 贈呈式の開催にあわせてリーフレットを制作し、受賞活動の紹介をはじめ、大賞受賞のトップインタビュー、審査委員の選考評、過去受賞の活動一覧を掲載した。出席者への配布のほか、協議会関係者約 1,540 社・団体へ郵送した。連動して協議会 WEB サイトからも発信し、式典での受賞各社の代表スピーチや選考評などもあわせて、レポートとして掲載した。
- 贈呈式の開催ならびにトロフィー制作にあたっては、ワコール/ワコールアートセンターの協力を得て、前年度に引き続き、悠(はるか)氏にオリジナルのトロフィー制作を依頼した。記念レセプションでは、アサヒグループホールディングス、サントリーホールディングスよりドリンクをご恵贈いただいた。



メセナアワード 2017 贈呈式



大賞・優秀賞オリジナルトロフィー(撮影:佐藤茂)

【メセナ アワード 2017 受賞活動および受賞企業・団体】

メセナ大賞		三菱地所株式会社 三菱地所の Shall We コンサート(出張コンサート)
優秀賞	アートの玄関賞	株式会社アーバネットコーポレーション アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション
	しまんちゅ心と技賞	株式会社沖縄タイムス社 沖縄タイムス伝統芸能選考会・選抜芸能祭
	地域光らせ賞	株式会社ジェイティービー JTB 交流文化賞
	プラットと音楽賞	公益財団法人東日本鉄道文化財団 駅コンサートの開催
	街が踊る賞	ポラス株式会社 南越谷阿波踊り
特別賞： 文化庁長官賞		富士ゼロックス株式会社 文化伝承活動

【This is MECENAT 2017／メセナアワード 2017 審査委員】

原島 博 (東京大学名誉教授) *審査委員長
 大竹文雄 (大阪大学社会経済研究所教授)
 大谷能生 (音楽家／批評家)
 松田法子 (都市史・地域史研究・生活文化論、京都府立大学講師)
 馬淵明子 (国立西洋美術館長) *以上五十音順、敬称略
 尾崎元規 (企業メセナ協議会理事長)

1-4. 情報発信

■ 広報活動

【プレスリリースによる情報発信:9 件】

No.	配信日	リリースタイトル
1	2/21	〔開催報告〕インドネシア・マレーシアから見た企業メセナ 東京フォーラム「芸術・文化を振興する企業理念とは—インドネシア・マレーシア企業における展開に向けて」
2	2/28	「This is MECENAT 2017」募集 3/1 よりスタート 企業メセナ協議会が全国のメセナ活動を認定—地域を活性化する企業の取り組みを可視化—
3	3/6	東日本大震災 芸術・文化による復興支援「GBFund」、全国の被災各地を支援する災害復興支援ファンドとして発展・継続 3/6～4/20、寄付キャンペーンを実施
4	3/8	社業・経営との結びつきを意識、企業活動としての成熟進む ～2016 年度「メセナ活動実態調査」結果～
5	3/31	企業メセナの新たなファンドが誕生 芸術・文化活動を支援するホテルオークラ東京の「Hotel Okura Tokyo Cultural Fund」第一回助成を決定
6	5/31	創造性にあふれる未来の社会のために 第二回「SOMPO アート・ファンド」、20 件へ助成決定
7	6/26	—This is MECENAT 2017— 芸術・文化による豊かな社会づくりをすすめる企業のメセナ活動 154 件を認定
8	7/26	リニューアル後初の助成活動を採択 芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund)—第 1 回採択結果発表—
9	11/2	「メセナアワード 2017」受賞 7 活動決定 三菱地所(株)「Shall We コンサート」にメセナ大賞

※ 上記プレスリリースのうち以下の 3 件は英訳し、国内外の文化機関等に配信した。

2017-No.1: Corporate Support of the Arts in Indonesia and Malaysia

Tokyo Forum

Corporate Philosophy in Promoting the Support of Arts and Culture

—Future Business and Arts Partnership for Indonesian and Malaysian Corporations —

2017-No.2: The Great East Japan Earthquake Restoration Fund [GBFund]

Becomes ‘Disaster Recovery Support Fund’ supporting nationwide

Donation Campaign from 6 March to 20 April 2017

2017-No.3: Growing Awareness of Business and Arts Relationship – Results ‘Survey for Actual

Condition of Corporate Mecenat Questionnaire’ – Fiscal Year 2016

【事業関連記事のメディア掲出数】

アワード	TI M	調査研究 セミナー	助成	国際
73	5	4	6	2

以上のほか、協議会事務局への「メセナ」に関する取材が 4 件。

【主な掲出記事】

掲載日	媒 体	内 容
1/27	織研新聞	トップインタビュー2017 ニッケ社長 富田一弥氏 ※メセナアワード 2017 大賞受賞
1/29	河北新報	文化を支え利益三分
2/20	日本経済新聞	経営の視点 成果見せてこそ CSR 国にはできない役割を
3/6	環境会議	インドネシア・マレーシア 芸術・文化振興の意義を共有 企業メセナ協議会
3/17	織研新聞	パーソン 東京ミッドタウンマネジメント社長 中村康浩氏 ※メセナアワード 2017 優秀賞受賞
4/6	日経産業新聞	音楽・芸術支援のファンド設立 （「ホテルオークラ東京カルチュラルファンド」設立）
4/26	繊維ニュース	ニッケ 社長 富田一弥氏 インタビュー
4/28	HOTERES	ホテルオークラ東京 芸術・文化活動を継続的に支援するメセナ活動に特化したファンド設立
6/22	保険毎日新聞	SOMPO アート・ファンド 全国の文化・芸術活動を支援
11/3	フジサンケイ ビジネス アイ	メセナアワード2017 大賞に三菱地所
11/16	宣伝会議 AdverTimes	「メセナアワード 2017」大賞は三菱地所の地域支援コンサート企画
11/22	毎日新聞	三菱地所の出張コンサートにメセナ大賞
11/29	沖縄タイムス	戦後復興への思い継ぐ 沖縄タイムス メセナ賞受賞 関係者ら喜び
11/30	Jcom「デイリー ニュース」	メセナアワード 2017 贈呈式 （ポラス株式会社 中内晃次郎社長インタビューほか）
12/5	人間会議	企業による文化創造を顕彰 「メセナアワード 2017」受賞 7 活動決定
12/19	朝日新聞	列島を歩く アートで街づくり 「芸術村」今も若手の息吹

■ウェブサイト運営

ウェブサイト・SNS・メールマガジンの連携を強化。会員のメセナ情報、協議会活動を発信

- 本年は、ウェブサイトを中心とした情報発信に注力し、会員のメセナ活動、協議会事業のレポート掲載を行い、メールマガジン、Facebook との連動を強化。タイムリーな情報発信とともに、協議会ウェブサイトのページビュー向上に貢献した。トップページで会員のメセナ活動を紹介する「アート&カルチャー」では 135 件・62 社・団体の活動を掲載し、引き続き多くのアクセスを得ているが、更なる改善を検討している。

	セッション数	ユーザー数	ページビュー
2015 年	115,765	89,174	321,017
2016 年	110,311	77,692	402,343
2017 年	109,786	72,838	411,544

※セッション数:サイトの訪問回数、ユーザー数:サイトの訪問者数、
ページビュー:サイト内ページ閲覧数

※SNS フォロワー数: Facebook 2,018 件、Twitter 約 1,620 件。(2017 年 12 月 31 日時点)

- メールマガジンについては、より気軽に読める構成に見直しを行い、ウェブサイト「アート&カルチャー」掲載の会員活動や協議会のイベントニュースの紹介を中心に、毎月初めの定期配信を実施した。そのほか会員向けの優先情報配信として、「会員限定メールニュース」の不定期配信を随時行った。メルマガ配信数は会員・一般:約 1,800 件、GBFund への寄付者や 2021 ArtsFund 利用者約 900 件。メセナ担当者や幅広い文化関係機関への情報発信ツールとなっている。

■会員のメセナ活動を発信するさらに魅力的なコンテンツとすべく、見直しを検討

- 2015 年度より導入した「メセナライター」制度については、第二期(2016 年 7 月～2017 年 6 月)委嘱ライター4 名によるレポート連載が 6 月に終了した。各ライターの専門性が活かした記事として取材企業からも好評を得、他の専門媒体での執筆機会を得るなど、人材育成にもつながった。

【第二期メセナライターレポート掲出数:2 件】

公開	タイトル	活動/企業	ライター
2 月	文化が地域にできること ～アジアの視点から～	文化拠点と地域・コミュニティ ケーススタディ& ワークショップ／企業メセナ協議会	河野桃子
6 月	音楽を愛する「大人」のための遊び 場 ～トッパンホール～	トッパンホール〈エスポワール スペシャル 12〉 ベアトリーチェ・ラナ(ピアノ)J.S.バッハ:ゴルトベルク 変奏曲 BWV988 / 凸版印刷株式会社	大野はな恵

- 第三期メセナライターは公募により 2 名に委嘱(2017 年 10 月～2018 年 3 月)。3 年間の取り組みを経て、より読みやすくテーマ性を持った連載コンテンツとしてリニューアルを行うため、局内にて新連載開始に向けた企画検討と取材先の検討を行った。

■出版、ライブラリー

メセナ情報の提供とライブラリー運営

- 既刊発行物の販売を行った。

【年間書籍売上件数:51 冊】

- 『メセナセミナーシリーズNo.10』 39 冊
- 『メセナを知る本』 12 冊
- 協議会事務所内のライブラリーでは、企業メセナ・社会貢献、CSR 活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行い、レファレンス対応も積極的に行った。



【ライブラリー概要】

公開時間	月曜～金曜日、11:00～17:30(要電話予約)
開架資料	- 和書・報告書: 1,533 冊(企業と文化・社会貢献、文化行政・文化政策、アートマネジメント・文化経済学、公益法人・NPO・文化税制、名簿・年鑑・一覧) - CSR 報告書: 約 250 冊 - 洋書: 562 冊(14 カ国の文化政策、アートマネジメント関連) - 企業・企業財団の資料: 約 1,060 企業・団体分 - 新聞・雑誌掲載記事(1989 年 12 月～2017 年 12 月) - 定期刊行物: 行政、芸術団体、研究機関、NPO、他
閉架資料	映像・音声資料: 265 点(主催セミナー: 1998-2001 年)、メセナアワード贈呈式: ～2008 年 他)
年間利用者数	約 10 名(大学、企業、文化団体等)

1-5. 普及促進

セミナー・フィールド視察

■国内外の企業メセナ・文化政策に関する知見を深めるセミナー、フィールド視察等を実施

- ・ 協議会事業に基づくセミナー、ワークショップや助成事業と絡めたフィールド視察を通じて、企業メセナ・文化政策に関する知見を深める企画を実現できた。文化庁や文化専門家を講師に招き、参加者も会員企業担当者、アート NPO・文化施設などの幅広い文化関係者が集まり、交流を深める機会ともなった。

緊急セミナー「新・『文化芸術基本法』で何が変わるか？」

2017 年 6 月の「文化芸術基本法」改正を受け、そのポイントと今後のビジョンや施策について文化庁担当者より解説をいただき、企業への意義や課題について、有識者を交えたディスカッションを行う緊急セミナーとして開催。

- ・ 日時:2017 年 9 月 26 日(火)17:45～19:00
- ・ 会場:WizBiz 2F セミナールーム
- ・ 登壇者:
 - 高田行紀(文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室担当室長)
 - 片山正夫(公益財団法人セゾン文化財団 常務理事、企業メセナ協議会 理事)
 - 吉本光宏(株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事、企業メセナ協議会 理事)
- ・ 参加者:37 名(会員 28 名、一般 8 名、学生 1 名)

*文化庁 平成 29 年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」 委託事業

・メセナやアートの現場を訪ねる「フィールド視察」は、「SOMPO アート・ファンド」との連携により、国際芸術祭の新しい実践を行う別府市にて開催した。現地アート NPO の協力のもと、自治体、企業関係者との意見交換、開催プログラム見学を通じて、アートフェスティバル・アートプロジェクトを通じた新しい地域活性の先進事例を視察することができた。

「in BEPPU / ベップ・アート・マンス」視察

世界有数の温泉地として知られ、2009～2015 年に開催のトリエンナーレ「混浴温泉世界」等、アーティスト・アート NPO・市民による盛んな芸術文化活動も注目を集めてきた大分県別府市。昨年新たにスタートした国際的アーティストによる個展式芸術祭「in BEPPU」、および例年市民による文化・芸術活動が約 100 件開催される「ベップ・アート・マンス」をあわせて視察。現地アート NPO、自治体・企業関係者等との意見交換、現地視察、別府市庁への表敬訪問を通じて、アートフェスティバル・アートプロジェクトを通じた新しい地域活性のあり方について、考える機会とした。

- ・ 日時:2017 年 11 月 29 日(水)～30 日(水)
- ・ 視察先・内容:
 - ・ BEPPU PROJECT オフィスにて、現地自治体・企業等、関係団体との懇談・意見交換
 - ・ 「西野達 in BEPPU」、「ベップ・アート・マンス」参加プログラム等、市内作品視察
 - ・ 別府市庁にて、猪又真介 副市長への表敬訪問
- ・ 協力:NPO 法人 BEPPU PROJECT
- ・ 参加者:4 名

■ 国際交流

インドネシア、マレーシア、シンガポールを中心に、ASEAN 諸国との国際会議・視察を実施

- 2015 年から国際交流基金アジアセンター「アジア・文化創造協働助成」事業より 3 ヶ年の助成を受け、「ASEAN 諸国における企業メセナの促進とネットワーク構築に向けた調査・協議」の 2 年目として、1 月にインドネシア、マレーシアよりゲストを招聘。

【都内企業訪問(1/25)】

都内企業メセナ視察

- ・実施日:2017 年 1 月 25 日(水) 10:00~17:00
- ・視察先:サントリーホール、損害保険ジャパン日本興亜、東燃ゼネラルグループ(現 JXTG エネルギー)

会員企業を中心に、日本の企業メセナの優れた 3 事例を視察し、その取り組み内容や理念等について意見交換を行った。

- ・参加者:6 名

【インドネシア】

- ・マルコ・クスマウィジャヤ(創造都市ルジャックセンター ディレクター)
- ・ティモセウス・レスマナ(インドネシア・フィランソロピー・アソシエーション 創立者、会長)
- ・リンダ・ホエマー・アビディン(インドネシア芸術連合 創立メンバー、執行委員会財務担当)

【マレーシア】

- ・アズミ・ワン・アフマッド(マイ・パフォーマンス・エージェンシー ジェネラル・マネージャー)
- ・ダンカン・ケイブ(シンクシティ アーバン・ナレッジ、プログラム・マネージャー)
- ・ジア・ピン(シンクシティ、エグゼクティブディレクター)

[助成] 国際交流基金アジアセンター

[協力] サントリーホールディングス、損害保険ジャパン日本興亜、東燃ゼネラルグループ

【国際会議「芸術・文化を振興する企業理念とは—インドネシア・マレーシア企業における展開に向けて」(1/26)】

東京フォーラム

「芸術・文化を振興する企業理念とは—インドネシア・マレーシア企業における展開に向けて」

日 時: 2017 年 1 月 26 日(木) 15:00~19:00

会 場: 電通ホール

2015 年より継続する「ASEAN 諸国における企業メセナの促進とネットワーク構築に向けた調査・協議」を通じて、現在インドネシアとマレーシアでは、企業を中心とした芸術文化振興のための中間支援組織の発足に向けた動きが加速している。今後、各国のメセナ組織の設立と ASEAN におけるネットワーク形成をはかり、多方向性ある交流と連携を進めるにはどうするべきか、各国のキーパーソンとのオープンディスカッションにより、方策を探るフォーラムを開催。

- ・出演者:

【インドネシア】

- ・マルコ・クスマウィジャヤ(創造都市ルジャックセンター ディレクター)
- ・ティモセウス・レスマナ (インドネシア・フィランソロピー・アソシエーション 創立者、会長)
- ・リンダ・ホエマー・アビディン(インドネシア芸術連合 創立メンバー、執行委員会財務担当)

【マレーシア】

- ・アズミ・ワン・アフマッド(マイ・パフォーマンス・エージェンシー ジェネラル・マネージャー)
- ・ダンカン・ケイブ(シンクシティ アーバン・ナレッジ プログラム・マネージャー)

- ・内容:

日本の企業メセナの歩み紹介／企業メセナのグローバル化、国際交流、各国の企業メセナ協議会設立に向けたモデルづくりについてディスカッション

- ・参加者: 58 名 (会員・関係者 26 名、一般 16 名、プレス 16 名)

[助成] 国際交流基金アジアセンター

[アセアン・パートナーズ]

都市研究ルジャックセンター(インドネシア)

マイ・パフォーミング・アーツ・エージェンシー(マレーシア)

[協賛] アサヒグループホールディングス株式会社 | 花王株式会社 | 株式会社資生堂 |

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 大日本印刷株式会社 | トヨタ自動車株式会社 |

日本電気株式会社 | 株式会社ベネッセホールディングス

- 11 月には、会員企業とともにシンガポール視察を実施。文化支援事業に取り組む現地企業、政府機関、文化施設を訪問し、意見交換を行った。

「アセアン諸国における企業メセナの促進とネットワーク構築に向けて」

日 時: 2017 年 11 月 7 日(火)～10 日(木)

ASEAN 諸国における企業メセナの促進と、各国をつなぐプラットフォーム形成を目指した国際交流プロジェクトの一貫としてシンガポール視察ツアーを実施。シンガポールを拠点としている多国籍企業が、現地の地域やコミュニティのために芸術文化支援を行っている先進的事例を視察し、意見交換を行った。

・ 訪問先:

ナショナル・アーツ・カウンシル(11/7)※事務局のみ意見交換、ライス・カンパニー、ドイツ銀行(11/8)、マリーナベイサンズ、ナショナル・ギャラリー(11/9)

・ 参加者:

5 名(理事長、会員 2 名、事務局 1 名、プロジェクト・コーディネーター/通訳 1 名)

[助成] 国際交流基金アジアセンター

- また、7 月よりウェブサイトにて、これまで交流を深めた ASEAN 各文化団体の最新動向を紹介するインタビュー記事(日英バイリンガル)で掲載。

No.	掲載日	記事タイトル
1	7/19	マイ・パフォーミング・アーツ・エージェンシー【マレーシア】 「変革のときマイ・パフォーミング・アーツ・エージェンシーのプロジェクトとその理念」
2	7/27	企業による芸術支援のための連合会議【マレーシア】 「マレーシアでの新しい動き」
3	9/11	サイム・ダービー財団【マレーシア】 「継続性ある未来の創造・提供——サイム・ダービー財団の揺るぎない理念と信念」
4	9/29	シンク・シティ【マレーシア】 「ボトムアップのアプローチ —— 多くの‘小さな力’のインパクト」
5	10/11	都市研究ルジャックセンター【インドネシア】 「ジャカルタ市と共に —— 新しい文化政策と新しいルジャック」
6	11/319	シンガポールメセナ視察ツアー【シンガポール】 「多国籍企業による芸術・文化活動を知る」
7	12/21	ライスカンパニー【シンガポール】 「芸術による教育 —— 新しい非営利団体のモデルと日本とのパートナーシップ」

■メセナネットワーキング

会員相互の交流と、メセナの輪を広げ、企業メセナの先進事例に触れる機会づくり

- 会員ネットワーキンググループ幹事の企画で、「新入会員ファーストミーティング」を行い(6/28)、3社5名の新会員が参加した。各社のメセナ活動についてプレゼンテーションを行う他、協議会の事業概要等を案内し、懇親会にて会員ネットワーキンググループのメンバーおよび事務局スタッフも含め、相互に交流を深めた。

6月28日(水) 15:00～17:30 協議会事務所	• 参加会員11名、うち新入会員以下3社: 酒井喜久治(CBC テレビ)、戸上眞一、野口雅裕(ソニー音楽財団)、 岩本真美、稲垣早苗(日本毛織)
-----------------------------------	--

- 「メセナ美術部」、「会員勉強会」の合同企画として、「神戸メセナ視察」ツアーを実施し(10/12-13)、東京のみならず関西エリアからも多くの参加者を得た。神戸ではこれまで多くの企業・財団がメセナアワードを受賞し、社業とのつながりの深い多様なメセナ活動が継続されている。現地ご担当者によるご案内のもと、多くの文化施設・アートフェスティバル等を視察。また、現地会員企業をゲストに、神戸企業における社業とメセナの結びつきについて学ぶ「勉強会」も実施し、参加者同士の活発な意見交換の場となった。そのほか、SDGsの観点から近年注目の高い「ラコリーナ近江八幡」へのオプションツアー視察も実施。

10月12日(木)～13(金) 神戸市、近江八幡市	「企業メセナ×建築・音・酒蔵 神戸メセナ視察ツアー」 • 視察先 竹中大工道具館(竹中工務店)、ジーベックホール(TOA)、酒心館ホール(神戸酒心館)、六甲ミーツ・アート(六甲山観光)、ラコリーナ近江八幡(たねやグループ) • 同時開催 会員勉強会:「神戸企業にみる、社業とメセナ」(会場:ジーベックホール) ・スピーカー:堀内あかり、吉村真也(TOA)、吉川公二(フェリシモ) ・協力:企業メセナ協議会・調査研究部会 • 参加者:19名(会員18名、一般1名)
------------------------------	--

- 「メセナ音楽部」では、近年各社のプログラム担当者が抱える「音楽をはじめとする芸術支援にいま何が必要か?」という課題をテーマに、トークイベントシリーズを企画。初回ゲストとして、国内外の音楽・ファンドレイジングの現場で活動するゲストにより、米国の最新動向・変革事例や芸術支援と社会の関わり方について講演をいただき、参加者との活発な意見交換を行った。今後もシリーズとして、音楽に限らずさまざまなゲストを招き継続開催を予定している。

12月11日(月) 17:00～18:45 白寿生科学研究所	トークシリーズ:「芸術支援にいま、必要なこと」 ～Vol.1 米国の音楽団体の成功事例に学ぶ～ • ゲスト:伊藤美歩(日本ファンドレイジング協会理事、 一般社団法人 Music Dialogue 理事 兼 事務局長) • 参加者:35名(会員24名、一般10名、学生1名)
--------------------------------------	--

- 「美術部」「音楽部」ともに、各視察先やゲストのご協力のもと、企業メセナや地域文化、芸術支援に関する先進事例に触れる機会となり、参加者から好評を得られた。会員各社・団体、アートNPO、文化施設運営や事業企画に従事する担当者など幅広い文化関係が集い、交流の場となるとともに、会員以外の文化関係者にも協議会を周知する機会となっている。

■ 地域メセナ交流・推進

各地域の文化振興に寄与

- コーディネート事業を中心として、具体的な相談に応じ提案等を行った。損害保険ジャパン日本興亜が設立した「SOMPOアート・ファンド」では、全国各地のアートフェスティバルやアートプロジェクトに対する助成を行い、墨田区の「隅田川 森羅万象 墨に夢」のプロジェクト運営ほか、企業と自治体、アートNPOや市民をつなぐプラットフォームとしての機能を充実させた。
- 協議会の関西拠点である関西・大阪 21 世紀協会、大阪、京都、香川でメセナ活動を実施する企業および文化団体等からの相談を受けるほか、活動の現場を視察した。
- 「メセナアワード」受賞活動等のプレスリリース発行に際し、該当する地域のメディアに働きかけた。

1-6. コーディネート、協力

■芸術文化振興の専門機関として幅広い相談・協力に対応

- 企業メセナの専門機関として、協議会に蓄積された情報や知見を活かし、芸術文化振興に関わる幅広い相談に応じる他、具体的なメセナプログラムの開発や協力、コーディネート事業を展開。企業間および企業と他のセクターをつなぐ役割を担った。
東京都が 2020 年に向けて都民のボランティア参加を促すべく、「東京都ボランティア活動推進協議会 気運醸成分科会」を設置。この構成機関として依頼があり、経団連1%クラブや経済同友会、東京商工会議所ほか、教育機関や中間支援組織等とともに会議に参加している。東京都の主催により「共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」が設けられ、企業メセナでボランティア活用に取り組む案件を複数推薦した。
- トヨタ自動車が運営するアートマネジメントに関する総合サイト「ネット TAM」については、本年度も継続して事務局を担い、毎月の定例会議を行いながらトヨタ自動車との協働により内容の充実を実現している。2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、2014 年のサイトリニューアルから文化プログラムを大テーマに据えて全コンテンツを展開しているが、それに付随して 2017 年は英語版サイトをリニューアル。2020 年のその後を意識し、2016 年からスタートした「オリンピック文化通信」をはじめ、コンテンツの良質なアーカイブとなるコラムを英訳し掲載、世界に向けて発信をしている。

トヨタ自動車	アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」の運営
アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」(www.nettam.jp)の企画・運営、月例更新(コンテンツ制作)、ブログ、SNS による広報。	
- 更新内容: - メルマガ配信(毎月 1 日) - コンテンツ連載(月 1~2 件更新) 【オリンピック文化通信】・・・オリンピック文化プログラムに関する情報発信レポート。 ※英語版サイトにも翻訳記事を掲載・・・「Olympiad Culture Express」 【リレーコラム】・・・アートマネジメントの現場で活躍中の方々が 1 つのテーマに沿ってリレー形式でつなぐエッセイ。 ・「イベントではなくインフラとしてのアート活動のために」(～2017 年 9 月) ・「楽器を持たずシンフォニーを奏でる、オーケストラ事務局の人々」(2017 年 10 月～) 【ネット TAM 講座】・・・ウェブで学ぶアートマネジメント講座。 ・実践編「アートプロジェクト」(アーツカウンシル東京)	
訪問数:1,509,613(年間)	
- ユニークユーザー数:684,730(年間) - ページビュー: 4,703,700(年間)	
	

- 2016 年度から引き続き、墨田区、公益財団法人墨田区文化振興財団が実施するアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」の事務局を受託した。市民が主体的に活動する芸術文化活動をサポートし、隅田川流域での活動者同士をつなぐプロジェクトとして、公募事業の実施や、毎月の交流会(寄合)等を運営。徐々にプロジェクトへの参加者も増え、着実に墨田区内に根差したプロジェクトとなりつつある。

墨田区	「隅田川 森羅万象 墨に夢」の運営
アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」の企画・運営。 ● 実施内容 公募企画の選考、実施に係る調整・運営補助(実施期間 9 月～11 月、17 企画) キックオフイベントの実施(8/27) ネットワークミーティング「寄合」の実施(毎月 1 回) 広報、報告会の企画、運営	



【文化関係機関等からの協力依頼対応】

■ 講義・出演

依 頼 元	内 容(期間・開催日)
フランス大使館文化部	国内のフランス政府文化機関関係者に向けたレクチャー 日 時：2017 年 5 月 30 日(火) 会 場：日仏会館 講 演：「Today's Corporate Mécénat」
全国芸術系大学コンソーシアム	文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム会議 プロジェクト・コーディネーター会議 日 時：2017 年 7 月 7 日(金) 会 場：東京藝術大学上野キャンパス 講 演：「企業メセナ協議会と企業のメセナ活動」
一般社団法人地域デザイン学会	第 3 回アートフォーラム 日 時：2017 年 8 月 26 日(土) 15:00～18:35 会 場：一般社団法人ソーシャルユニバーシティ 講 演：「企業による芸術・文化支援の現況と企業メセナの役割」
日本大学芸術学部	日 時：2017 年 10 月 20 日(金) 会 場：日本大学芸術学部 講 演：「企業メセナ協議会と企業のメセナ活動」
静岡文化芸術大学	自治体文化財団マネジメント講座・公開セミナー 日 時：2017 年 12 月 22 日(金) 会 場：B-nest 静岡市産業交流センター 講 演：「自治体とともに考える SUAC 自治体マネジメント講座」
佐賀大学	アートマネジメント人材育成講座 Saga Mobile Academy of ART 日 時：2017 年 10 月 20 日(金) 17:00～22:00 会 場：シアター・シエマ 講 演：「文化芸術とお金の仕組み」

日本アートマネジメント学会	第 19 回日本アートマネジメント学会全国大会〈奈良〉 日 時：2017 年 11 月 26 日(日) 会 場：奈良春日野国際フォーラム「甕」 講 演：「これまで、そしてこれからの企業メセナ～未来を生き抜く企業メセナの現場から～」
2015 年度より広島県・一般社団法人せとうち観光推進機構より受託した「瀬戸内アート資産等調査・整理等事業」では、瀬戸内 7 県(兵庫、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛)のアート資産(施設、文化財、街並み、産業遺産、企業・財団、景観等)の一覧化と、観光面の資産評価、および 2015～2016 年度瀬戸内アートクルーズを実施してきた。2017 年度はこれらの実施成果に基づき、瀬戸内の企業ネットワークづくりのための相談に応じた。	

【その他協力依頼対応】

■委員・役員

依 頼 元	内 容(期間・開催日)
文化庁	「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化プログラム分科会」事業開催業務 企画選定委員会委員(2016 年 4 月 26 日～2017 年 3 月 31 日)
文化庁	「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」に関する審査委員会委員(2016 年 7 月 14 日～2017 年 3 月 31 日)
文化庁	「芸術系大学連携による人材育成型アートプロジェクト」の実施・運営業務」企画選考委員会委員(2016 年 10 月 27 日～2017 年 3 月 31 日)
文化庁	平成 29 年度「文化庁文化交流使事業」運営実施業務企画選定委員会委員(2017 年 3 月 3 日～2017 年 3 月 31 日)
文化庁	平成 29 年度「国民文化祭に関する調査研究」業務先選定に係る技術審査専門員(2017 年 3 月 15 日～2018 年 3 月 31 日)
文化庁	文化芸術の海外発信拠点形成事業協力者会議委員 (2016 年 11 月 7 日～2017 年 3 月 31 日)
静岡県	静岡県文化政策審議会委員 (2015 年 3 月 13 日～2017 年 3 月 12 日)
静岡県	静岡県文化政策審議会委員 (2017 年 9 月 5 日～2019 年 3 月 12 日)
鳥取県	鳥取県教育審議会委員 第 6 期本審議会 (2016 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日)
長野県	第 1 回信濃美術館整備委員会委員 (2017 年 2 月 20 日～2019 年 2 月 19 日)
横浜市	平成 28 年度「横浜市広報企画審議会」委員 (2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日)
横浜市	平成 29 年度「横浜市広報企画審議会」委員 (2017 年 7 月 1 日～2018 年 6 月 30 日)
特定非営利活動法人 トリトンアーツネットワーク	トリトン・アーツ・ネットワーク第 5 期評価委員 (2014 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

東京都	東京都ボランティア推進協議会構成団体 (2015 年 9 月 3 日～)
心の復興推進コンソーシアム	心の復興推進コンソーシアム運営委員 (2016 年 6 月 1 日～2018 年 5 月 31 日)
公益財団法人 地域創造基金さなぶり	「アーツエイド東北・芸術文化支援事業」審査委員 (2017 年 3 月 24 日)
特定非営利活動法人 日本NPOセンター	評議員 (2017 年 7 月 1 日～2019 年 6 月 30 日)
船橋市	船橋市文化振興推進協議会委員 (2017 年 10 月 10 日～2018 年 3 月 31 日)

■視察

依 頼 元	内 容(期間・開催日)
全国メセナネットワーク	全国メセナネットワーク総会、前橋美術館視察、広瀬川美術館視察 (2017 年 3 月 25 日～26 日)
三陸国際芸術祭 八戸公演実行委員会	三陸国際芸術祭 2017 八戸種差公演視察 (2017 年 8 月 19 日、20 日)
第 32 回国民文化祭 第 17 回全国障害者芸術・ 文化祭	第 32 回国民文化祭・なら 2017／第 17 回全国障害者芸術・文化祭なら大会 総合フェスティバルオープニング「開会式」(2017 年 9 月 2 日、3 日)
瀬戸内国際芸術祭 実行委員会	企業 CSR 担当者対象 瀬戸内国際芸術祭による地域活性化事例紹介 (2017 年 10 月 27 日、28 日)
NIDF2017 実行委員会	新潟インターナショナルフェスティバル 2017&国際シンポジウム (2017 年 12 月 17 日、18 日)

■後援 ラベル提供

依 頼 元	内 容(期間・開催日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議名古屋フォーラム 2017 (2017 年 2 月 8 日、9 日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議名古屋フォーラム 2017 (2017 年 6 月 9 日)
文化庁	「文化プログラムシンポジウム in 大阪」 (2017 年 3 月 2 日)
特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会	ファンドレイジング・日本 2017 (2017 年 3 月 18 日、19 日)
アートミックスジャパン 実行委員会	アート・ミックス・ジャパン 2017 (2017 年 4 月 1 日～23 日)
ローム株式会社	ローム ミュージック フレンズ No.5 (2017 年 4 月 12 日)

公益社団法人日本芸能 実演家団体協議会	文化芸術振興議員連盟 40 周年 文化芸術推進フォーラム 15 周年記念パ ーティー(2017 年 5 月 10 日)
株式会社 ホテルオークラ東京	チャリティーイベント第 23 回秘蔵の名品佳人礼賛-うるわしの姿を描く- (2017 年 7 月 31 日～8 月 24 日)
三菱UFJリサーチ&コンサ ルティング株式会社	港区のアドバイザーとして企業訪問 (2017 年 8 月 1 日)
日本アートマネジメント学会	日本アートマネジメント学会第 19 回全国大会 (2017 年 11 月 25 日～11 月 26 日)

■大学生の実習・インターンシップ受入れ

- 昭和音楽大学ではアートマネジメントの授業の一環として実習・インターンシップ制度を取り入れており、同大学からの依頼によりアートマネジメントコースの学生1名を受入れ、協議会の活動や企業メセナについての理解を深めてもらう機会を提供した。(2017 年 6 月～12 月迄の期間の 80 時間)

公2:芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業

2-1. 「2021 芸術・文化による社会創造ファンド」(2021 Arts Fund)

■個性あふれる目的別ファンドの運用と寄付者の要望に沿った寄付コーディネートを実現

- Hotel Okura Tokyo Cultural Fund 設立(2017 年 3 月)
株式会社ホテルオークラ東京による新たな運営型ファンドの設立とそのファンドから 3 つの活動へ助成が実現した。(活動の公募は実施せず)
- SOMPO アート・ファンドの本格運用
2016 年 6 月に設立し、運用を開始。引き続き 2017 年度は第 2 回の活動募集および助成を行った。当ファンドの特徴である各地の活動をつなげ、ネットワークの形成を目的とした活動報告会を実施し、第 1 回助成活動団体が一同に会し、活動の成果や課題を共有し、交流の場を創出した。また、第 3 回の活動募集を行い、運営の定着化へつながった。

実施回	申請数	採択数
第 1 回	公募実施せず	18 件
第 2 回	98 件	20 件
第 3 回	134 件	2018/1/26 選考予定

■寄付のポータルサイト「かるふあん！」の運営による利用者サービスの向上

助成事業のウェブシステム「かるふあん！」のインターネット利用による寄付が増加し、寄付の促進とサービスの定着化が進んだ。

(参考:カード決済利用状況)

年 度	利用件数	利用金額
2016 年度	50 件	1,465,000 円
2017 年度	127 件	6,078,000 円

■全体の利用実績

【採択件数と寄付状況等】 SOMPO アート・ファンド、Hotel Okura Tokyo Cultural Fund を含む

年 度	採択件数	寄付件数	寄付総額	助成総額
2016 年度	35 件	504 件	377,876,359 円	312,131,769 円
2017 年度	45 件	555 件	256,823,600 円	191,149,911 円

2-2. 「芸術文化による災害復興支援ファンド」(GBFund)

■災害に対する新たな芸術・文化復興支援の枠組みをスタート

- これまでのファンド運営を継承しつつ、今後は災害を特定せず、発災後、必要に応じて芸術・文化支援を実施可能にするために、本年より新たな枠組みをスタートさせた。対象災害を東日本大震災と熊本地震とし、第1回の活動募集と助成を行った。また、活動を実現するため自ら寄付集めの意思のある活動に対しては認定制度を用い、税制優遇の利用による資金調達の支援を実施した。
- 寄付金減少の状況を鑑みて、3月に寄付キャンペーン「花咲くキャンペーン」を実施した。震災による支援の必要性を発信しながら忘却防止に努め、7件、155,711円の寄付をいただいた。

【2017年度の助成件数と助成金額】

第1回選考会(2017/7/14)		申請数	採択(助成)数	助成総額
対象災害	東日本大震災	37件	8件(内百祭2件)	2,600,000円
	熊本・大分	15件	3件(内百祭1件)	900,000円
	両方	2件	0件	0円
合計		54件	11件(内百祭3件)	3,500,000円
税制優遇の利用		34件	8件	—

【GBFund 選考委員】

- 片山正夫 (セゾン文化財団常務理事)
俵木 悟 (成城大学文芸学部文化史学科准教授)
船曳建夫 (文化人類学者)
日沼禎子 (女子美術大学准教授)
山田創平 (京都精華大学准教授)

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド



2-3. 助成認定制度

■ 小さな活動を支援する、寄付集めの入り口として定着

- 2021 Arts Fund 運用後、中・小規模の活動にご利用いただき、任意団体や比較的身近な芸術・文化活動を実施されている方々の支援する制度として定着をしてきた。あわせて寄付集めをするための入り口と位置づけ、協議会の助成制度の中核となっている。
- 2021 Arts Fund の導入にともない、利用者が二分化され、活動申請数は減少傾向にある。



- 利用実績については下表のとおり。

【2017 年度の活動認定件数】

	実施日	認定件数	請件数申
第 1 回審査委員会	3 月 16 日	14 件	16 件
第 2 回審査委員会	6 月 26 日	28 件	32 件
第 3 回審査委員会	9 月 22 日	14 件	15 件
第 4 回審査委員会	12 月 7 日	7 件	9 件
合 計		63 件	71 件

【助成認定制度を通じた寄付件数と寄付金額】

年 度	寄付件数	寄付総額	助成総額
2016 年度	337 件	62,765,639 円	67,485,639 円
2017 年度	412 件	76,613,798 円	77,024,613 円

以 上